

人工肛門閉鎖手術を受けられる()さんへ

入院中のスケジュールです、入院時に持参してください。

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	/	/
経過(病日等)	入院日(手術前日)	手術当日(前)	手術当日(後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～	手術後4日目～7日目	手術後8日目(退院)
達成目標	◇身体的・精神的に手術に臨む準備ができる	→	◇合併症の症状・所見がない ◇痛みがコントロールできている ◇呼吸が安定している ◇血圧・脈拍が安定している 痛い時は鎮痛剤を使います。	◇高熱がない(38℃以上) ◇出血がない	→		→	【退院基準】 ◇腹痛や発熱がない ◇排便コントロールができる ◇退院について不安がない
治療・薬剤 (点滴・内服)処置	普段の内服薬とお薬手帳を持参してください お臍をきれいにします 装具交換をします	当日は許可された薬のみ内服して下さい 手術用の寝巻きに着替えます 点滴があります 血栓防止のために弾力ストッキングをはきます	酸素マスクをします(術後呼吸状態が安定したら除去します) 心電図を付けます 創部の消毒とガーゼ交換をします	内服は再開する際に説明します 問題がなければ除去します 歩けるようになったらストッキングを脱ぎます	 傷の状態に問題がなければシャワー浴が開始となります	食事が進むと点滴が徐々に減ります	→	
検査	採血の検査があります		胸とお腹のレントゲンを撮ります	定期的レントゲンと採血があります				→
活動・安静	病院内自由です		ベッド上安静です 寝返りはできます	看護師と一緒に歩く練習をします 制限はありません	 1日に病棟を3周は歩き、腸を動かして腸閉塞予防に努めましょう			
安全	ナースコール・ベッド柵を設置 運動靴の使用をお願いします			初回歩行時はふらつくことがありますので、注意してください				
食事	昼から低残渣食がでます 眠前に下剤を飲みます	朝から絶食です 		回診後に水分が開始になります 	栄養補助飲料が開始になります	5分粥になります 	4日目から全粥になります 6日目から常食になります 	
清潔	入浴・洗髪が可能です 浴室は自分で予約が必要です (予約記入板はナースステーションにあります)			タオルで体を拭きます 	シャワー浴ができます 			
排泄			尿道カテーテルが挿入されています	→ 抜きます				
患者様及びご家族への説明 生活指導 栄養指導 服薬指導	医師から手術について説明があります。ご家族もご来院ください。 手術までの流れについて分からない点を説明します 薬剤師によるお薬の確認があります(薬を持参して下さい) 病棟の案内をします 麻酔科医の診察と手術室の看護師の説明があります。 家族の連絡先を確認します 必要に応じ担当の医療ソーシャルワーカー(MSW)がお話を伺いながら、転院・退院までの支援を行います	眼鏡・入れ歯・アクセサリー・コンタクトなどははずし、化粧・マニキュアは落としてください 手術に必要な物品がそろっているか確認しますので、1つの袋にまとめてください(看護師が預かります)全ての物にフルネームで名前を記入してください 手術中、家族の方は携帯電話を所持し4階家族控え室、または院内で待機してください	手術が終わり次第、電話で連絡致しますので、家族の方は、面会させていただきます 主治医からの説明があります  痛みがある時には、痛み止めを使用したり、体位調節を行います ・呼吸訓練を行い、痰をしっかりと出して肺を広げ肺炎を予防しましょう ・深部静脈血栓症予防のため、足の運動を行いましょう		シャワー浴の方法について説明があります 下痢が続く時は内服薬や塗り薬が処方されます 骨盤底筋運動を行うようにしましょう(パンフレット参照)			退院時診察があります 次回の外来日について、医師より説明がありますので必ずご確認ください。 薬剤師より退院処方についての説明があります。 看護師から退院後の日常生活について説明があります。(日常生活の注意点など)
				合併症予防のため痛み止めを使用しながら散歩の時間を増やしていきましょう				→

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 胃・大腸外科 西棟10階病棟
令和6年9月改訂